

小牧市在宅医療・介護連携推進事業 ～令和元年度実績報告～

令和2年11月19日(木)

小牧市 福祉部 地域包括ケア推進課
小牧市在宅医療・介護連携サポートセンター

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

① 医療・介護マップ

- ・ 電子@連絡帳登録者と併せて、医療・介護マップを作成・公開
(登録率30.1%)

在宅医療・介護地域ネットワーク
こまきつながるくん連絡帳

はじめに

電子@連絡帳（こまきつながるくん連絡帳）は、医療・介護等の在宅医療に関わる情報を、多職種間でネットワークを構築し、連携を図る目的で運営しています。

電子@連絡帳（こまきつながるくん連絡帳）を使用すると、利用登録されたパソコン、タブレット、スマートフォンなどの端末からであれば、いつでもどこからでも現在利用されている支援機関の間の情報伝達をスムーズに行うことができます。個別支援計画が立てやすくなります。

ぜひ、このシステムを利用して、在宅医療に関わる多職種間での情報共有にご活用ください。

お知らせ

2019.02.19 【重要】電子@連絡帳機能の一部制限、および臨時メンテナンスのお知らせ

2018.10.11 【重要】証明管理画面の表示に不具合が発生しています。

2018.07.26 セキュリティ対策ソフトのご利用に伴う注意事項のお知らせ (7/26)

2019.02.21 「平成30年度 在宅医療・介護 市民講演会を開催しました」

2019.01.29 「2月16日(土)在宅医療・介護 市民講演会を開催します」

2019.01.19 「こまきつながるくん連絡帳 新サービス提供開始のお知らせ (01/21)」

利用規約

Komaki

こまきつながるくん連絡帳
事務局：小牧市
健康福祉部 地域包括ケア推進課 地域連携係
TEL: 0565-8450
認知症小牧市協会の3日3夜講座
TEL: 0565-76-1188
FAX: 0565-75-5714

コンテンツ
・ ホーム
・ こまきつながるくん連絡帳とは
・ 利用登録する手順
・ ご利用までの流れ
・ 同意書について

サポート窓口
・ サポート窓口

リンク
・ 小牧市医師会
・ 小牧市歯科医師会
・ 小牧市社会福祉協議会
・ 小牧市社会福祉協議会



(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

②在宅医療・介護連携に関するアンケート調査

- ・市内に居住する満40歳以上の男女2,000名を対象に調査実施。
- ・在宅医療・介護連携推進事業の取組みの基礎資料や医療・介護関係者に情報提供。
- ・自由意見として、多く寄せられた意見について、在宅医療・介護市民講演会のパネルディスカッションのテーマとして取り扱う。

視点1：かかりつけ医

- ・3割弱がかかりつけ医を持っていない
- ⇒ ターゲットを絞った情報提供が必要。

視点2：在宅医療・在宅介護

- ・在宅医療を知っているが、小牧市の取り組みを知る人が少ない
- ⇒ 小牧市内の現状について、市民理解を深めることが必要。

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

②在宅医療・介護連携に関するアンケート調査

視点3：相談・情報提供

- ・相談先が、「親族」（60.6%）、「医師・歯科医師・看護師」（33.1%）の順。
 - ・『相談していない』という方が2割弱。
- ⇒ 公共機関の相談窓口が分からないとの意見も多いことから、相談先である在宅医療・介護連携サポートセンターや地域包括支援センターの認知度を高める取り組みが必要。

視点4：わた史ノート

- ・「わた史ノートを知っている」は、前回調査より、6.4%増加し、3割弱となり、徐々に広がっている。
 - ・終末期について、深く考えたことがない市民が4割弱と多い。
- ⇒ わた史ノートの周知・活用に向けた出前講座などを通じ、終末期について考え、自分らしく生きていくための支援が必要。

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

②在宅医療・介護連携に関するアンケート調査

○主な自由意見

- | |
|---|
| ・在宅では病状が急変した時の対応が遅れるというイメージがある。 |
| ・在宅のサービスは紹介されるものなのか、自分で探しておくものなのか
どういう流れで進んでいくのか知りたい。 |
| ・在宅医療・介護のシステム、スタッフ、料金の現状や将来の計画について
具体的なことを知りたい。 |
| ・在宅と入院した場合の比較について知りたい。 |
| ・在宅医療の方が良いのか判断できる情報がほしい
(在宅の良い点、病院の良い点の比較など) |
| ・夫婦で入れる老人ホームなどがもっとたくさんあれば良いと思う。 |
| ・老老介護を見ていると悲しくなる。支援の充実を切に願う。 |
| ・もっと身近に認知症や介護などについて基礎的な知識を得られるような
気軽に足を運べる窓口がほしい。 |
| ・「こんな時どうする？」或いは「地域包括支援センターの業務内容がわかる」
パンフレットや情報ツールがほしい。 |
| ・リハビリや自立支援が続けられる情報がほしい。 |

(イ) 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討

①在宅医療・介護連携推進協議会

・令和元年度は、3回開催

令和元年度の開催状況	
第1回 R元.7.11	①地域ケア会議の結果から抽出された地域課題について ②こまきつながるくん連絡帳について
第2回 R元.11.31	①これまでの課題の進捗状況について
第3回 R2.3.28	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

【委員19名】

小牧市医師会・小牧市歯科医師会・小牧市薬剤師会
小牧市民病院・小牧第一病院・小牧市社会福祉協議会
小牧市介護支援専門員連絡協議会・小牧市介護保険サービス事業者連絡会
小牧市リハビリテーション連絡会・愛知県春日井保健所・市
小牧市地域包括支援センター・小牧市在宅医療・介護連携サポートセンター

(イ) 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討

①在宅医療・介護連携サポートセンター会議

・毎月第3木曜日に開催

【目的】

- サポートセンター事業（相談・支援）の共有
- 研修会・勉強会の企画、開催
- 多職種の関係機関の事業の把握
- その他、在宅医療・介護連携サポートセンター事業に関することの協議

【メンバー15名】

小牧市医師会・小牧市歯科医師会・小牧市薬剤師会
小牧市民病院・小牧第一病院・小牧市社会福祉協議会
小牧市介護支援専門員連絡協議会・小牧市リハビリテーション連絡会
小牧市介護保険サービス事業者連絡会（訪問看護部会）・愛知県春日井保健所
市・小牧市地域包括支援センター

(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築

①連携シートの活用

- ・平成31年4月から令和2年2月までの11ヶ月の実績
小牧市民病院：171件
小牧第一病院：50件

②副科紹介ツールの活用

- ・副科（耳鼻咽喉科、眼科）の紹介マニュアルを作成
- ・令和元年度は、対象副科の拡大に向けて、精神科でツールを活用

③在宅患者訪問薬剤管理指導手順の活用

- ・在宅患者に対する訪問薬剤管理指導の依頼手順を整理

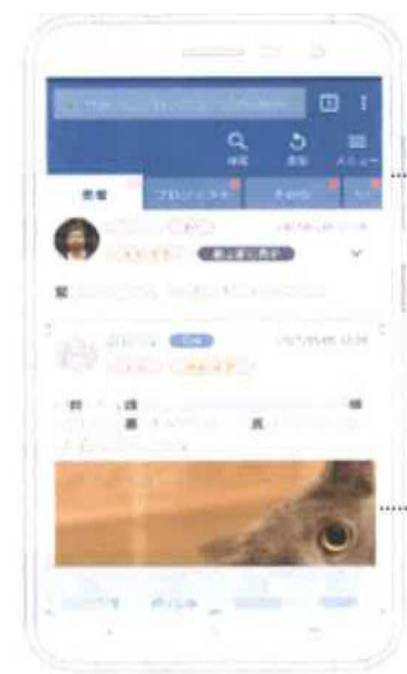
(エ) 医療と介護関係者の情報共有の支援

①情報共有ツール「こまきつながるくん連絡帳」の運営

- ・ ICTを活用した患者情報の共有など、医療・介護連携ツールとして電子@連絡帳「こまきつながるくん連絡帳」を導入。
- ・ 患者情報の共有以外に、会議の開催案内、専門職間の連携ツールとして活用を促進
- ・ 事業者からは、PC端末がなく、活用できないとの声もあり、現在は、スマートフォンにも対応

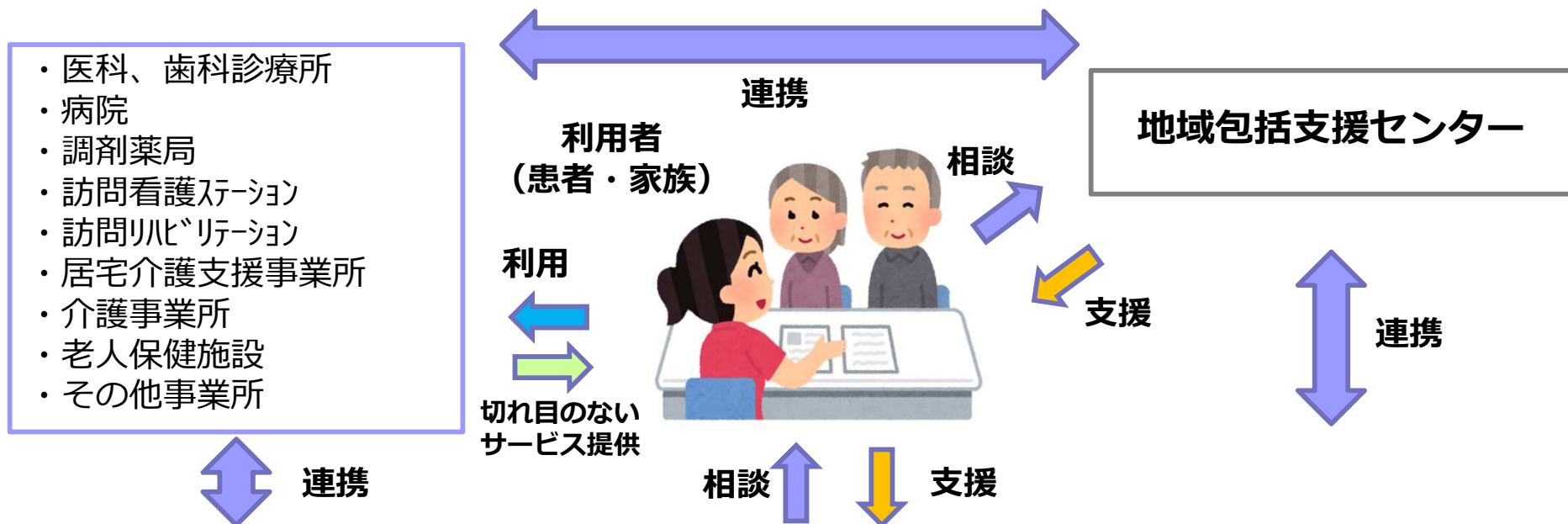
具体的な活用例

- ◆ 小牧市在宅医療・介護連携サポートセンター会議
： 会議開催案内、議事録、情報共有等
- ◆ 小牧市認知症初期集中支援チーム
： 支援チームの対応状況の共有
- ◆ 地域支え合い推進員を中心とした専門機関（専門職）
： サロン定期巡回の相談対応等の共有
- ◆ こまき山劇団（在宅医療・介護 市民講演会）
： シナリオ、講演会資料の共有、稽古開催案内等



スマホ版のイメージ

(オ) 在宅医療・介護に関する相談支援



小牧市在宅医療・介護連携サポートセンター

<職員>

2名（看護師2名）R2.3末現在

<主な機能・役割>

- ・ 市民、医療・介護関係者等からの在宅医療・介護に関する相談対応
- ・ 地域包括支援センターや医療・介護関係機関との連携

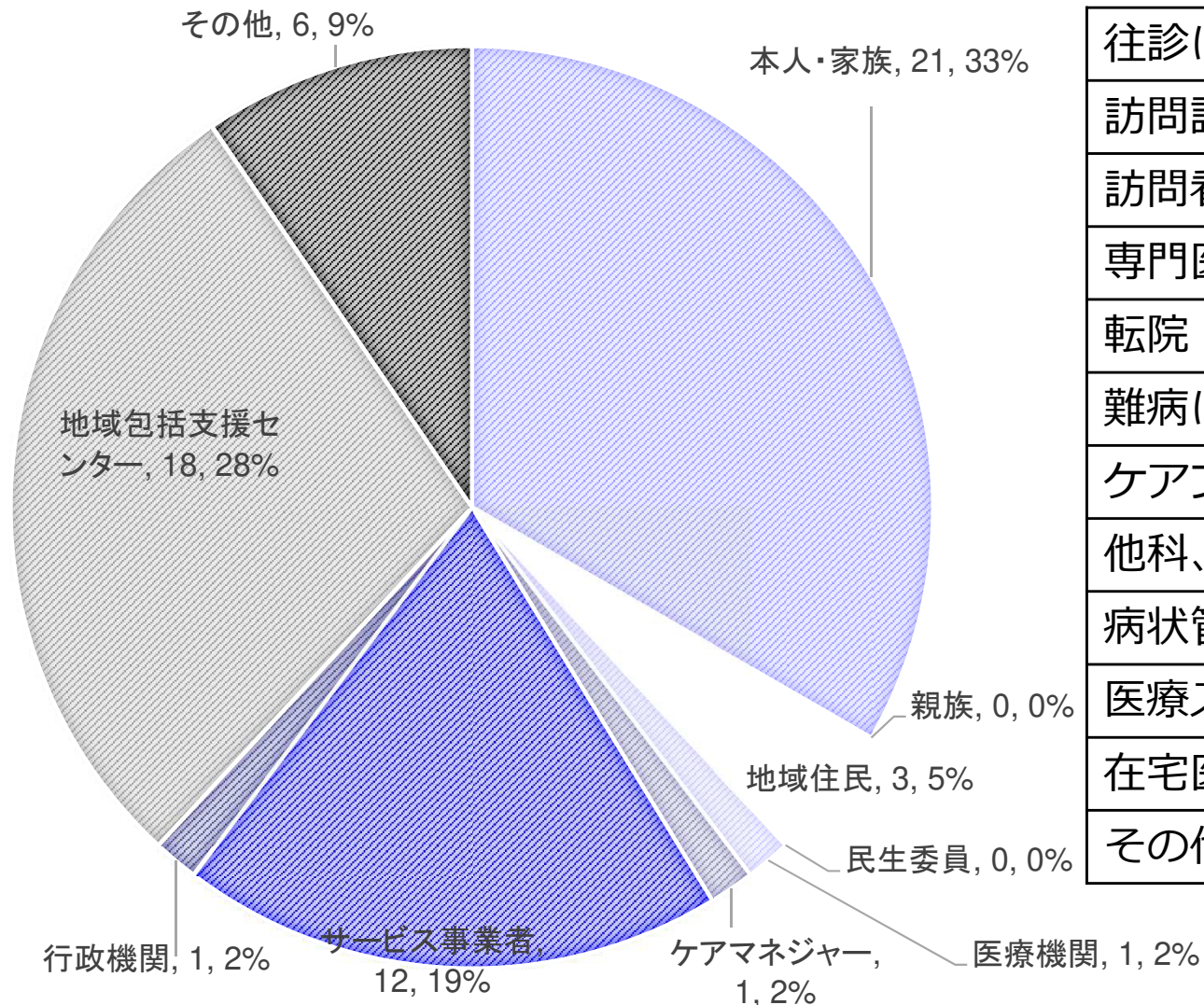
⇒ 『顔の見える関係づくり』をサポートする

<具体的な取り組み>

- ・ 多職種連携研修・勉強会の開催
- ・ 市民啓発
- ・ 医療・介護関係者への相談支援、情報提供

(オ) 在宅医療・介護に関する相談支援

・令和元年度の相談件数は、63件



往診に関すること	1
訪問診療に関すること	13
訪問看護に関すること	3
専門医療機関の紹介	28
転院・入所先について	3
難病に関する制度、入所、レスパイト	0
ケアプランの相談	1
他科、他医療機関への変更について	3
病状管理に関すること	1
医療スタッフとの関わり方	0
在宅医療に関すること	4
その他	6

(力) 医療・介護関係者の研修

① 多職種連携研修会

第1回：令和元年10月3日開催：参加者83名

迫りくる大地震。どうしてる？災害への備え
～それぞれの災害対策を知り、自分たちの役割を考える～」

～終末期の方の対応はどうしてますか？～

第2回：令和2年1月23日開催：参加者 103名



(力) 医療・介護関係者の研修

②医療・介護勉強会 ～みんなで支える在宅療養～

第1回 H31.4.16	生きる力を支える歯科医療 ～歯科疾患と全身との関係～	ササキデンタルクリニック 佐々木 成高 氏	55名
第2回 R元.7.12	在宅に必要な精神科の知識	小牧メンタルクリニック 加川 直樹 氏	82名
第3回 R元.10.23	在宅に必要な泌尿器科の基礎知識	千田クリニック 千田 基宏氏	46名
第4回 R元.12.19	認定看護師から学ぶ皮膚・排泄ケア ～知って得する排泄ケア～	小牧市民病院 認定看護師 奥村 智昭 氏	39名
第5回 -	小牧ごっくんスコア2020（摂食嚥下評価スコア小牧版）	新型コロナウイルス感染症影響により次年度に延期	-

(キ) 地域住民への普及啓発

① 専門職のサロン派遣

- ・ 歯科医、歯科衛生士：20回
- ・ リハビリテーション：29回
- ・ 介護福祉士 1回

② 市出前講座等

- ・ わた史ノート：8回

③ 出張勉強会（小牧ごっくんサポート）

- ・ 施設：2施設 8回開催

④ 市広報

- ・ 広報こまき：奇数月15日号で在宅医療コーナー



サロンでの口腔ケア講座の様子



こまき山体操講習の様子

(キ) 地域住民への普及啓発

④ 認知症シンポジウム

- ・ 令和元年11月30日開催（来場者250名）
- ・ 愛知県認知症疾患医療センターあさひが丘ホスピタル主催
- ・ 小牧市の認知症初期集中支援チームの事例報告



⑤ 在宅医療・介護 市民講演会

- ・ 令和2年2月8日開催（来場者252名）
あなたはどうか考えますか？最高の人生の終わり方
～医療・ケアチームらと話し合うACP（人生会議）～

⑥ サロン巡回への同行

- ・ 社会福祉協議会事業「サロン巡回」に同行、PR（7回）
- ・ サポートセンターのチラシ等（マグネット）を配布

(ク) 在宅医療・介護連携に関する市区町村との連携

①近隣市町村センターとの情報交換会

- ・ 毎月1回開催。小牧・岩倉・尾北・西名古屋の担当者・春日井・江南保健所
- ・ 10月8日には、自治体職員も参加し、情報交換会を開催

②県主催の情報収集型研修に参加（市職員・サポートセンター職員）

①7月25日	・ 講義：認知症を含む高齢者の予防について ・ GW：予防に沿った地域づくり
②8月22日	・ 講義：受診率向上施策ハンドブックについて ・ GW：ワールドカフェ
③10月3日	・ 講義：2040年を見据えた地域包括ケアシステムの展望 ・ GW：地域ケア会議
④11月21日	・ 講義：ひきこもりについて ・ GW：ひきこもり孤立対策
⑤12月19日欠席	・ 講義：未病対策 ・ GW：

(ク) 在宅医療・介護連携に関する市区町村との連携

③愛知県医師会主催の在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議に参加（市職員・サポートセンター職員）

① 7月5日	・報告： ・在宅医療・介護連携推進事業の運営状況に係るアンケート調査結果報告 ・在宅医療サポートセンター事業実績から地域包括ケアの評価指標を考える ・講演：在宅医療・介護連携の現状と課題
② 11月22日	・地域にあった在宅医療・介護連携のあり方
③ 2月6日	・評価指標結果報告及び意見交換 ・総括

④電子@連絡帳（ICT）の広域連携協議

- ・平成31年4月1日：春日井市・小牧市・岩倉市の3市連携協定
- ・平成31年4月10日：上記3市に加え、尾張東部地区の連携協定
- ・令和元年10月1日：上記に加え、尾張中部地区と連携協定

課題と今後の展望

①在宅医療・介護に関する市民啓発

- ・相談窓口（在宅医療・介護連携サポートセンター・地域包括支援センター）の周知活動の強化
- ・小牧市の在宅医療・介護連携推進事業の見える化
- ・出前講座、PRに向けた協力体制の整備

②こまきつながるくんの利用促進

- ・研修、勉強会の開催案内など利用促進に向けた取り組みを展開
- ・「医師とケアマネ一覧」の電子化など機能強化
- ・駐車場シェアシステムの利用促進

③研修、勉強会の内容の充実

- ・これまでの研修、勉強会で寄せられた意見を踏まえ、テーマを選定
想定テーマ：災害、ACP
- ・新しい生活様式を踏まえた研修のあり方についての検討

④医療・介護関係者の連携に向けた支援

- ・医療・介護関係者が具体的なケースを通して意見交換や学び合う場の設置